

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2 単位 地域を知る	地域フィールドワーク	田中 一雄	2 年次	秋

授業のキーワード	まちを知る、むらを知る、群馬を知る
授業の概要	群馬のことを多角的に学び合うことで、群馬の魅力や価値をもう一度見つめなおしてみよう。 講義中心でなく、全員参加型で議論しながら進めていきます。
期待される学習成果（目標）	地域社会の現状を知るとともに、フィールドワークの実施により、社会調査の手法を知るとともに相手方との折衝能力を高めます。調査対象は各自が選定のうえ実施し、結果発表を行うことができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクションー群馬を知る	地域の価値は経済力だけでなく、風土や歴史、文化など、多角的な観点から評価できます。群馬を探索します。	第 9 講	地域の「魅力」を語ろう	もし、県外から友人が来たらどこへ案内しますか。群馬の面白いスポットを紹介してみよう。
第 2 講	「地域の価値」を語ろう	自然、風景、建物、イベントなど、普段私たちがあまり気に留めない地域の価値を見出しましょう。	第 10 講	観光をプロデュース!①	自分が面白いと思う、人にも勧めたいと思うスポットやお店を入れた観光コースを考え、紹介してみよう。
第 3 講	フィールドワークの方法	フィールドワークに必要な調査の方法について学びます。	第 11 講	観光をプロデュース!②	観光コースを考える第2回目です。
第 4 講	群馬県の工業開発、企業立地	群馬県は全国有数の内陸工業県。工業開発の実情と企業の立地状況を調べてみましょう。	第 12 講	群馬の文化を知ろう	現代の群馬文化の担い手や芸術・文化施設など、地域の文化を読み解いてみましょう。
第 5 講	立地企業を調べてみよう	企業を対象にどんなことについて調査したらよいか、考えてみましょう。	第 13 講	若い人の暮らし①	群馬で若い人が集まる場所ー「居場所」ーを紹介してみよう。また、なぜそこへ集まるのか考えよう。
第 6 講	「地域」×「キャラクター」×「食」=魅力	ゆるキャラやローカルヒーロー、そしてB級グルメなどについて調査してみましょう。	第 14 講	若い人の暮らし②	若い人が快適に暮らせるような仕組みについて、政治や行政などのようなことを期待するか考えてみましょう。
第 7 講	スポーツ県ぐんま?	東京オリンピックが近づいてきます。群馬のスポーツ事情を考えよう。	第 15 講	フィールドワーク調査 part 2 発表	フィールドワーク調査 part 2 の結果について発表と講義を総括します。
第 8 講	フィールドワーク調査 part 1 (立地企業調査)	調査結果を各自が発表します。	定期試験		定期試験は、レポートとする予定。
評価方法		調査結果の発表とレポートによる。講義型でなく、全員参加型で議論しながら授業を進めていきます。なるべく休まずに参加してください。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じ、資料等を配布します。			田村明著「まちづくりの実践」(岩波書店・岩波新書) 群馬県編『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』(群馬県発行) 熊倉浩靖編「群馬県謎解き散歩」(KADOKAWA(新人物往来社)・新人物文庫)		